

【資料43】白石町立小学校の統合再編に係る素案についての意見①

賛成	概ね賛成	どちらかという反対	反対	委員数計
6	6	4	6	22

「賛成」の意見

- ①学校までの距離が遠すぎると、スクールバスを利用したとしても、児童たちの負担が大きいです。
- ②福富小の児童数の減少が気になるが、将来的に吸収統合でもよいと思う。
- ③自由校区設定について、新拓地区のみではなく、湯崎、新観音地区等も考慮してよいと思う。
- ④有明中を利用するのは、距離的、位置的、設備的にみても利点が多く賛成。
- ⑤白石小を改修するのであれば、新築の方がいいのでは。福富小を現行のままなら校舎の改修等、児童の安全確保が必要。
- ⑥白石・福富地域の4km圏外を超える児童は、スクールバスやいこカー等で保護者申請により利用できるようにした方がよい。また対象地区内外に関わらず、身体障害、疾病等のため通学が困難な児童も乗車できるように。
- ⑦自由校区については、佐賀市のように隣接校区選択制があるが慎重に検討すべき。
- ⑧福富小はそのままでもいいが、大規模な改修工事や将来的な人口減少の対応について、具体的なビジョンを立てておくべき。
- ⑨財政も考慮すべきだが、工夫をして出来るだけ早く実現すべき。
- ⑩現在の中学校区での統合が妥当。1校または2校にした場合の通学について、小1と小6の体力差、スクールの維持費等を考慮すると3校が妥当。
- ⑪地図で4kmを超えて交わるところを、自由校区にしてほしい。

「概ね賛成」の意見

- ①有明中は、建築年数が新しく、校舎改修をし、ぜひ利用してほしい。
- ②白石小を全面改修するぐらいなら、白石地域の中心部（六角小学校の位置等を含む）の新築もあると考える。
- ③福富小は、児童数を考えると福田、新観音、太原瀬等を新小学校へ区域変更の考えもある。
- ④有明中で4kmを超える牛間田区等の通学は、現在もイコカーを利用しているので継続でよい。
- ⑤福富小は、現行のままでもよい。
- ⑥有明3小及び福富小は素案に賛成。白石4小の位置については、下記の理由で北明小学校がよいのでは。
 - ・校舎の耐用年数は白石小より長く、北校舎の改築等は必要なものの、当面改修工事は不要
 - ・4km圏内は白石小とほぼ同じ地域を網羅し、新拓地域は現在も自転車通学なので通学に支障がない
 - ・杵島山沿いの通学方法を考えるのは、白石小にした場合も同じ
 - ・北明小から4kmの同心円を描くと、六角川以北の円周内に無駄な地域がない
 - ・福吉北地域の一部が4kmを超えるが、福富小への区域変更や自由校区設定を考える。
- ⑦諮問内容（先行き不透明な次の世代を逞しく生き抜いていく力を育てていくような「よりよい教育環境」の実現）に基づき、今回の素案を考えると次のような意見になる。
 - ・有明地域の3小学校の統合再編内容については、特に異論はない。
 - ・白石地域の4小学校の統合再編内容のうち、現白石小学校の活用については、統合再編時期が2028年と遠い先となり、かつ全面改築が必要であれば、別用地を確保して新築した方がよい。用地としては、白石地域での中心に近く、先々の3地域全体での小学校統合を見据え、白石中学校近辺ではどうか。そうすることで、杵島山沿いの地区の児童の通学方法の検討は必要なくなるのでは。
 - ・福富小の現行継続については、特に異論はないが、「よりよい教育環境」を実現するためには、それなりの児童数は必要である。児童数を確保するためには、現在の白石地域の区域を福富小学校区に編入する必要がある（例えば、福吉、深通、福田北、福田南、新観音、太原瀬など）
 - ⑧福富小については、昔より地域性があると思うが、中学校で一校区になるので、他の地域と少し一緒である。小学校であってもバランス的にはよいのではないか。白石地区については、一部を福富小に通学するようにすれば、中心にすることで杵島山沿いの地区を4km以内にする。

「どちらかと言えば反対」の意見

- ①有明3小学校の統合再編については賛成だが、白石・福富地域の統合再編については、1校が望ましいと思う。
- ②コミュニティスクールの成果を生かすことは大切だが、従来の校区意識に固執せず、区域変更など柔軟性を持って対応した方がよい。
- ③白石・福富地域は、将来的に児童数の減少が推定されるのであれば、今回まとめて統合していいのではないかと思う。数十年後にまた統合計画をたて、PTAや校歌、その他のことをまた一から考えなくてはならない。校舎の老朽化により補修にもかなりの費用がかかることを考慮すると、白石・福富地域は1校でよいのではと思う。
- ④白石、福富、有明の地域が、それぞれ地域ごとに校区小学校がなされることも一案である。しかし、福富小の児童の減少が推定されることから、白石地域への現白石小学校への吸収統合再編が必要となる可能性があることを踏まえれば、今回、白石地域・福富地域の小学校は統合再編しておくべきと考える。有明地域の3小学校は統合再編すれば、おおむね牛間田等を除いて、通学距離4kmである。学校規模的に考えても適当ではないかと考える。

「反対」の意見

- ①自由校区設定は、同じ地区で別の学校に行くので、地域活動に差が生まれる。
- ②福富小は、校舎を改修するにしても将来的に吸収統合するにしても中途半端になる可能性が高い。
- ③福富小は、児童数が著しく少数になり、中学校進学の際に様々な問題が出てくるのではないか。
- ④白石小を使用しても、2年で耐用年数がくると、全面改修が必要となる。
- ⑤素案は、短いスパンで考えると適正に思うが、児童数減少は避けられず少し長いスパンを見据えて1校に再編する案が適正。
- ⑥福富小を現行のままでは、校舎の老朽化、また児童数減の予測などにより反対。
- ⑦もっとダイナミックな考えをすべき。官僚的ではなく波風が立っても将来のことを考えたら、1校にすべき。
- ⑧最初はまとまり易い案と思ったが、5～6年後の全体の児童数を試算すると白石・有明地域は各学年2クラスだが、福富は1クラスが多くなる。子どもたちが切磋琢磨しながら成長していくことを求めるのであれば、複数学級になる必要がある。
- ⑨コミュニティスクール、小中一貫校の事が挙げられているが、福富の小中一貫校の成果も、中学校が1校になると途切れてしまうように思う。福富が後に少人数になった時に統合するようであれば、初めから旧町という考えをやめて、大きく2校にした方がよいと思う。
- ⑩審議会での決定事項（適正規模12～18学級）を考えない場合は、1校がベスト。1校のメリットは以下のとおり。
- ・将来の人口減に対応可能
 - ・学区の心配をなくしてよい
 - ・スクールバスを運行しやすい
 - ・全面改修を行う必要がない⇒白石小、福富小を全面改修するなら、コストは1校新築と大差ない
 - ・場所は、白石中学校の北側
- ⑪人と接する事が重要な時期に、スクールバス、親の送迎と通学方法も変化すれば、人とのコミュニケーション力、プレゼン力の機会が失われるのではないかと思う。安心、安全は地域とのつながりによって形成される。
- ⑫仮に白石地域4校を統合とした場合、現白石小の施設ではなく、新校舎を建てた方がよい。理由としては、位置と児童数に対する面積や特別教室等の少なさ。もし新校舎を建てる場合は、現白石中近くに余裕を持った作りで建てるとよい。将来的に白石町の児童数が減少の一途をたどり、町内1小学校体制を考えざるを得ない時期が来た場合の受け皿となりうると思われる。
- ⑬2校あるいは3校を考える場合、既存の施設を利用するとしても全く新しい学校を作るという考えもでき、旧3町や現小学校区の境界に囚われず、全く新しい地区割を考えるという方法もあるのではないか。

白石町立小学校の統合再編に係る素案に関する意見等の事前調査（様式2-1）

校数	委員数
1校	2

学校の位置

●現白石中学校の北側を買収し新築。衛星写真を見る限り、面積的にも現在の白石中学校と用地が確保できると思われる。

●白石中学校付近。

1校が適正と思う理由

●児童数で考えたと3校が妥当と思うが、今後の人口推移、既存校舎の耐用年数、旧町意識の改善などを考えたと1校が適正と考える。

●スクールバス等を考えたと、小中学校が隣接していることはコスト等を考えると有利になると考える。

●教育面から考えても、小中学校の連携が密になり総合的な学習環境も整うと思われる。

●小学校、中学校、高校（白石・佐農）、それに特別支援学校を誘致し学園都市にした方がよい。

●なぜ地域、コミュニティというかわかからない。人口が減少しているのに、大きく白石町がコミュニティと考えるべき。高齢者が多い小さいコミュニティは成り立たない。

●若い人は、ますます町外に出る。現状でも地域の役職の人は決まった人ばかりで、人選に苦労しているのが現状。

白石町立小学校の統合再編に係る素案に関する意見等の事前調査（様式2-2）

校数	委員数
2校	4

		①	②	③	④
A校	組み合わせ	有明3小学校 +北明小学校区の一部	有明3小学校 +北明小学校区の一部	有明3小学校	有明3小学校
	位置	有明中学校	有明中学校	有明中学校	有明中学校
B校	組み合わせ	白石4小学校 (北明小学校区の一部) +福富小学校	白石4小学校 (北明小学校区の一部) +福富小学校	白石4小学校 +福富小学校	白石4小学校 +福富小学校
	位置	白石小学校	用地買収で新築 (白石小より少し東の方)	白石小学校付近	白石小学校
理由		<ul style="list-style-type: none"> ●福富小を現行のまま継続するとしても、児童数や施設の状態を考えた場合、数年後を見通した時に統合が必要となってくる。 ●大きく2校に統合すること が、効率的だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●3校だと規模に差が大きすぎる。 ●2校にすると規模も適当だと思う。 ●旧町にとらわれすぎない てよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●福富小も今は人数的に大丈夫としても、いずれは減るのならば今のうちに一緒にした方がよい。 ●校舎の老朽化が進んでいるので、改修する予算もかかる。改修したうえで、後々合併とかはあり得ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各小学校の耐用年数等から考えて、これを機会に、1校ということも考えられるが、1,200人規模となる。この場合、新築あるいは大規模的な増築やまた学校の位置などから、新たな土地購入などの財政的問題が生じる可能性があるのではないかと想定される。現段階では、今ある学校を持続的に活用していくことが望ましいと考える。

白石町立小学校の統合再編に係る素案に関する意見等の事前調査（様式2-3）集計

		委員数	計
A校	組み合わせ	①有明3小学校	13
		②有明3小学校 +須古小校区の一部 +北明小校区の一部	1
		③有明3小学校 +北明小校区の一部	1
		有明中学校	15
	学校の位置	12	15
B校	組み合わせ	①白石4小学校	1
		②白石4小学校 (北明小校区の一部)	1
		③白石4小学校 (白石小校区及び北明校区の 一部)	1
		④六角小学校 +須古小学校 +白石小校区の一部	1
		①白石小学校	6
		②六角小学校	3
C校	学校の位置	③北明小学校	1
		④白石小学校または 北明小学校	2
		⑤白石小学校または 六角小学校	1
		⑥白石中学校付近に新設	2
		①福富小学校（現行）	10
		②福富小学校 +白石小校区の一部 +北明小校区の一部	4
C校	組み合わせ	③福富小学校 +白石小校区の一部	1
		①福富小学校	11
		②福富中学校	2
		③中心に新築（福富地域）	1
	学校の位置	1	15
	④不明	1	

※意見の詳細は、別紙に記載。

■ 3校 詳細①

区分		①	②	③	④
委員数		3	1	1	1
A校	組み合わせ	有明3小学校	有明3小学校	有明3小学校	有明3小学校
	位置	有明中学校	有明中学校	有明中学校	有明中学校
B校	組み合わせ	白石4小学校	白石4小学校	白石4小学校	白石4小学校
	位置	白石小学校	白石小学校 ※ただし、新築であれば中心に近い位置が良い	白石小学校 または 北明小学校	白石小学校 または 六角小学校（増築）
C校	組み合わせ	福富小学校	福富小学校	福富小学校	福富小学校
	位置	福富小学校	福富小学校	福富小学校	福富小学校
理由		<p>●小学校は特に地域との交流、連携が必要であるため、地元で協力して子どもを見守り、地域や家庭と協力しながら、顔の見える交流、支援が必要と思う。各地域に1校の小学校で全体で3校が望ましい。</p> <p>●旧町（合併前）毎がまとまりやすく、適正規模にもなる。福富小は児童数がやや少ないが、一定の数で安定的に推移している。距離が統合するには遠い。</p> <p>●将来的には白石と福富は第3の地に学校新築を検討すべき。</p> <p>●地域の行事等も、まだまだ現小学校区で行われているので、現中学校区の3校が妥当。4kmを超えて交わる部分は自由校区にしてもらいたい。</p>	<p>●福富、有明地域については、有明沿岸道路の開通状況によりパーク等等の建設が見込まれるため、地域に小学校があった方がよい。</p> <p>●通学距離、地域を考慮し、旧町単位の3校が妥当</p> <p>●2校案も考えたが、現段階での10年後を考えると3校が適正だと思う。行政区等の地域の問題もあるため。</p>		

■ 3校 詳細②

区分		⑤	⑥	⑦	⑧
委員数		1	1	1	1
A校	組み合わせ	有明3小学校	有明3小学校	有明3小学校	有明3小学校
	位置	有明中学校	有明中学校	有明中学校	有明中学校
B校	組み合わせ	白石4小学校	白石4小学校	白石4小学校	白石4小学校
	位置	北明小学校	白石小学校	白石中学校北側に新設	白石中学校近辺に新設
C校	組み合わせ	福富小学校	福富小学校	福富小学校	福富小学校 +白石地域の一部分
	位置	福富小学校	福富中学校	福富小学校	福富小学校
理由		<p>●学校までの距離や規模、歴史的背景等を考慮すると3校が妥当と考える。中学校は1校に統合再編されるので、福富小は取り残された感は否めないが、中学校の適正規模や統合の意義を考えると現状ではこれがベターではないか。</p> <p>●校区の一部に4kmを超える地域も出てくるが、今後適正な通学支援を考えたい。校区の配置換えや自由校区での選択制をとってもよい。今後は、今以上に中学校や小学校同士の交流を活発にしていこう。ことが大切であろう。</p>	<p>●地域社会のつながりも連携していきたい。</p> <p>●登下校の姿、声は地域の活性につながる。</p>	<p>●あくまでも審議会で、クラスが12～18学級と決定したことを前提としている。</p> <p>●白石中学校の北側に新設する場合は、将来の町内1校を想定して大きめに建設する。</p> <p>●2校案は、自由校区にしない限り、学区の見直しが困難</p>	<p>●一挙に1校とした場合、児童数が多くなりすぎ、学年の児童間のつながり、学校全体での一体感の醸成は難しく、通学方法についても複数の検討が必要。</p> <p>●仮に2校とした場合、児童数規模としては最適と考えるが、3地域を2地域に区分することになり、どこかの地域が大幅に分断され、その地域は激変的な取扱いになるとともに、分団作業に多くの時間を要する可能性がある。通学方法についても複数の検討が必要。</p> <p>●旧町3地域を小学校統合再編の下敷きにした方が、児童数規模も適正の範囲内になると考え、現状の教育環境からは大幅に改善される。さらには今後の手続き等を考えるとスムーズに進めやすい。</p>

■ 3校 詳細③

区分		⑨	⑩	⑪	⑫
委員数		1	1	1	1
A校	組み合わせ	有明3小学校 +須古小学校区の一部 +北明小学校区の一部	有明3小学校	有明3小学校 +北明小学校区 (新拓、横手、築切)	有明3小学校
	位置	有明中学校	有明中学校	有明中学校	有明中学校
B校	組み合わせ	白石4小学校	白石4小学校	白石4小学校 ※ただし、北明は太原上	六角小学校、須古小学校 +白石小学校区の一部 (場田、栄町あたり)
	位置	白石小学校 (新築含む)	六角小学校 (新築)	六角小学校 (新築)	六角小学校 (増築または新築)
C校	組み合わせ	福富小学校	福富小学校 +白石小学校区の一部 +北明小学校区の一部	福富小学校 +北明小学校区 (遠江瀬) +白石小学校区 (福吉、福田)	福富小学校 +白石小学校区
	位置	福富小学校	福富小学校	福富中学校 (新築または改修)	不明
理由		<ul style="list-style-type: none"> ●伝統、地区行事、通学時の見守り等、地域との関わりを保つことができる。 ●一部地域を除き、自力(徒歩)登校ができる範囲。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の事を考慮し、旧町単位の3校が妥当 	<ul style="list-style-type: none"> ●半径4km範囲で白石町を囲むと3つの円ができるから。 ●小学校は、10歳を境に心も身体も大きく成長する時期で、児童数が多すぎてもよくない。2クラスでできれば切磋琢磨しながら6年間バランスのとれた成長(学力も含む)ができると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●六角と須古は、地域とともに歴史がある。 ●六角小学校区は、一部が自由校区になっており校区選択肢がある。 ●周辺に公共施設が存在し、安心・安全が獲得できる。 ●六角小の北側は7・ル・農地が存在し、用地買収が可能。 ●4km圏内に収まれば、スクールパスの運行は必要ない。

自由意見

- ①1校への再編案を持っているが、通学距離の問題が大きくなると思う。スクールバスの運行が必須になると思うが、現在のいこカーなどを拡充して、地域住民と一緒に利用できるような体制ができればよい。地域コミュニティを守り、子どもたちと高齢世代との関りができると思うからである。
- ②校舎を新築する場合、段差の少ない施設等のバリアフリーとし、多目的トイレの設置を。
- ③特別支援学級、また学級に在籍する児童生徒の教育や支援は、重要な課題である。県立特別支援学校の「分校」を町内に誘致し、充実することはできないだろうか。
- ④人口減少と世代の考え方の違いを理解すべき。
- ⑤出来れば早く実現すべき。実現できる学校（例えば有明）から先行して実践できないか、検討する必要も。審議会の役目ではないが、次のステップで考えてほしい。
- ⑥町が人口増に向けた取組を強力に進めないと、子どもがいなくなり町の活力が失われる。
- ⑦統合再編が財政的な面及び将来の「A1時代」向けての対応は理解するが、教育内容も変化しなければと思う。「読み・書き・算盤」とか基本は変わらない。人と接する機会が失われる。子どもたちは、地域とともに育てる。そのためにも地域に小学校は残してほしい。
- ⑧小学校の再編については、時間をかけて考えていきたい。小学校では低年齢であることを考えるとき、通学範囲が広がること、距離が長くなることについては、あらゆる場面を想定して考えていくべき。
- ⑨小学校の再編については、大変迷っている。予算的に可能な限り、現体制（8校）でいいと考えて欲しいとの思いがある。幼い子にとっては、「小さな学校」の方がメリットがあると考ええる。競争や切磋琢磨が必要な場合もあると思うが、それ以上に全校児童が名前と顔が一致するという環境や一人ひとりが役割を持ち、責任感を育てていくという面も捨て去りにくい。低学年の場合は少人数の方が、丁寧に指導をしてももらえろという意見も多い。子どもの居場所という視点で考える場合、地域とのつながりが強い小さな学校の魅力を感じているため、迷いが大きいのだと感じている。
- ⑩中学校で統合する目的なので、小学校であまり地区を決めなくてもよいと思う。できるだけスクールバス等の使用をしないでいいように考えても。
- ⑪教育委員会の管轄ではないが、次の3点
- ・ 学童保育の人数が、統合時期は多くなると思われる。学童保育をする場所の確保
 - ・ 白石地域の各学校に組織されている、教育振興会の取り扱い
 - ・ 各小学校のスポーツクラブ（野球、バスケット等、新学校で1つにするか）
- ⑫放課後児童クラブの利用人数。放課後、遊ぶ仲間が多いとできる遊びの選択肢も増える。
- ⑬資料希望：小中一貫校に関する資料があればみたい。
- ⑭資料希望：令和元年度 学校基本統計速報（佐賀県）の表20「市町別学校数・生徒数」
- ⑮資料希望：3校、2校、1校の場合のメリット、デメリット等の比較となるデータ